



街路樹



発行第 121 号

平成30年5月25日(金)

いわき市総合教育センター

いわき市平字堂根町1-4

0246(22)3705

「所長挨拶」



総合教育センターは、昨年度から「研修調査室」「教育支援室」の2室体制で運営しています。

「研修調査室」は、おもに研修全般、調査・研究に関すること、「教育支援室」は、教育相談、いじめや不登校対策、そして、特別支援教育に関することなどをおもに担当しています。

研修に関することについては、すでに各学校に配布されている「研修の手引き」(クリーム色の冊子)や「いわき市教職員研修計画」(緑色の冊子)に詳しく載っていますので、参考にしてください。

困難な状況を抱える子どもたちへの支援(SC・SSWの活用などを含む)については、「教育支援室活用の手引き」(白色の冊子)をご覧ください、気になる子どもがいる場合には、ぜひ「教育支援室」へご相談ください。

また、文化センターは、現在、耐震工事をしているため研修場所が、文化センター以外になることが例年より多くなったり、変更になったりする場合がありますので、案内要項の確認をお願いします。

今年度1年間、先生方とともに成長する教育センターを目指し、最終的には「いわきの子どもたちのために」職員一同努力していきますので、よろしくお願ひいたします。

いわき市総合教育センター 所長

「研修調査室から」

平成29年度の全国学力学習状況調査の中で、児童生徒に対する質問の一つに「前年度、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」という問いがありました。いわき市では、全国平均と比較し、小学校で-6.8ポイント、中学校で-7.4ポイントと大幅に下回る結果となりました。新学習指導要領では、これからの変化の激しい社会で柔軟にかつたくましく「生きる力」を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善が示されました。

以上のことを踏まえ、いわき市教育委員会では「未来をつくるいわきの学校教育ABCプラン」の一部改訂を行いました。また、各教科においてはABCプランの趣旨を踏まえた授業改善のポイントを示しました。

昨年度、調査研究委員会では市内の先生方の実践を編集し、「教師力upの素」としてホームページ上にアップしました。本年度は「主体的・対話的で深い学び」への授業の改善に焦点を当て、授業改善の方向性を研究しその結果を公表していきたいと考えています。ぜひ、各学校の校内研修において、授業改善の視点として取り入れていただければと思います。

<ご案内>

○「教師力upの素」

総合教育センターホーム

ページに掲載しています。FCSアドレスをお持ちの先生方は、閲覧できますので、ぜひご覧ください。

○ 教育図書資料室の活用について

アーカイブセンターとして文化センター4階に設置しています。図書の貸し出しも行っていきますのでぜひ、お越しの際は、活用してください。



「教育支援室から」

平成29年度から立ち上がった教育支援室も2年目を迎えました。この2年目をより充実したものにすために行った「活用状況及び効果に関する調査」(平成29年12月実施)の結果について簡単に紹介します。

「①教育支援室の認識度」に関する質問では、「理解している」との回答が[37%](「どちらかという理解している」を含めると[86%])でした。また、「②活用の有無」については、「活用した」との回答が全体の[77%]でした。特に、多くの小学校で活用していた結果(小学校[83%]、中学校[67%])となりました。

事業別の活用状況に関しては、「発達障がいに関する相談や支援」「就学に関する相談や支援」「不登校児童生徒に関する支援」「家庭支援や保護者との連携」(SC・SSWの活用を含む)に関する事業での活用が多くありました。それぞれの事業に対して、[90%]以上の学校で「よかった」との回答が得られました。

2年目となる今年度は、「教育支援室活用の手引き」を作成し、校長先生方及び特別支援教育コーディネーターの先生方をおして、全ての小中学校へ配付させていただきました。さらに認知度を高め、様々な面で困り感を持っているいわき市の子どもたちのために活用しやすい教育支援室をめざしていきます。校内のみでは対応が難しいケースがありましたら、ぜひ、教育支援室へご相談ください。



